

平成29年度 人権・同和教育講演会 を実施しました。

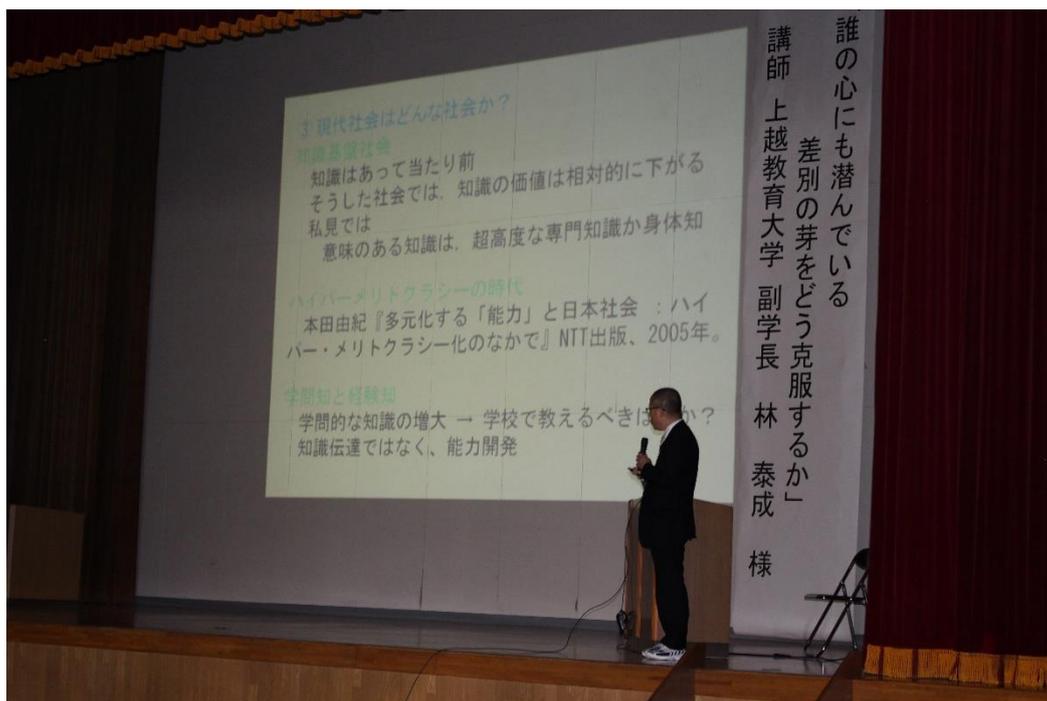
日 時 : 平成29年10月25日(水) 6・7限 大体育館にて

テ ー マ : 「誰の心の中にも潜んでいる差別の芽をどう克服するか」

講 師 : 上越教育大学 副学長 林 泰成 (はやし やすなり) 様

講師紹介 : ご専門は、道德教育論、心の教育論です。大学院時代に中学校・高等学校でスクール・カウンセラーの仕事をされたこともあり、「規範意識(モラル意識)を育む道德教育」に、「自尊感情を高めるカウンセリング的な手法」を取り入れ、道德授業に行動面の指導を取り入れた「モラル・スキル・トレーニング」を提唱されています。

最近では、「リアル社会とネットワーク社会の中で、青少年がどのように他者とかわりながら成長していくか」について、ご研究されております。また、新潟県の同和人権教育のテキスト「生きる V」の改訂にも携わられています。



【講演内容(抜粋)】

現在、人権についての研究が進み、より一人一人の多様性を大切にする時代となっています。そのため、過去の行動を反省しなければいけない場面も出てきています。例えば、ジョン・レノンの「イマジン」でさえ、その歌詞によって傷つく人がいるという認識になっています。

最後に、江口いとさんの「人の値打ち」という詩を紹介され、「差別の芽は誰の心の中にもあり、それは誰もが持っている人間の弱さである。誰もが持っているからといって、それをそのままにするのではなく、それに打ち勝たなければならない。」と締めくくられました。